

活動報告

団体名	生活協同組合くまもと
活動名	仮設住宅等の被災者が孤立化しないためのコミュニティーづくりの支援活動
活動期間	2016年8月～2017年6月
活動の成果	<p>■ 2016年度被災者に寄り添う・・・という方針を基に、サロン活動を中心とした支援活動をスタートした。</p> <p>活動の目標を、「被災者の方々に笑顔で過ごしてもらおう。」、もう一つは、「仮設住宅の中での孤立を防ぐ。」とし、仮設の住民の方々のコミュニティーの場を作るとした。</p> <p>2016年9月から月1でサロンを開催し、回数を重ねていくことで被災者の方々も心を許して下さるようになってきて、私たちが来る日を心待ちにして下さるようになった。サロンに参加した後も、集会場に残っておしゃべりをしたりコミュニティーを作る基にサロンが成果を上げていると思います。ただ、サロンに参加される方が固定化し、孤立化を防ぐことになっているかどうかはまだ課題だと思われます。また、参加者の大半が女性であり、男性の参加がほとんど見られないため、今後は男性も参加しやすい企画を考えていかなければならず、この課題をクリアにするためにも今後も支援活動を続けていきたいと思っています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>昨年の熊本地震の際に皆様から頂いた支援は、大変ありがたく心強いものでした。地震発災直後は、何をしたらよいのか？どんな支援をしたらよいのか？右往左往していました。皆様からの支援で少しずつ活動もみえてきて、仮設にいらっしゃる被災者の方々とも笑顔を作るために一緒に頑張っています。</p> <p>地震から1年3か月が過ぎ、仮設住宅で過ごすことに慣れてはきたのですが、今後の住まいの事、せっかく出来たコミュニティーをまた一から作らなければならないということなどは、高齢者の方々には大きな問題となります。そんな問題を解消するには、まだまだ時間が必要となります。私たちの地元の生協の役割も大きいと思います。被災者の方々が安心して仮設住宅を出て行かれるまで、支援活動を続けていきます。今後も続く支援活動にご協力くださるようお願いいたします。</p>

(活動のようす)

